

ROTARY : Making a Difference



第2780地区

大磯ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度RI会長
イアン H.S. ライズリー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 新宅 文雄 会長エレクト 守屋 紀忠 幹事 田中 敏治

第2421回 例会 平成29年10月5日 No.9

■司会：大藤 勉 ■点鐘：新宅 文雄 ■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・10月12日：休会 ・11月2日：通常例会、理事会 11月5日：宿場まつり

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率	◇欠席者(3名)
2421回	14(12)	9	75.00%	—	—	原、野田、石山さん
2419回	14	14	100.00%	—	—	◇メイクアップ(0名)

◇ゲスト：李・イエンさん(米山学友)

イスラーム・アシュラフ君(米山奨学生)

◇米山奨学金授与：新宅会長→イスラーム君へ



先週の歓迎会で渡せなかった図書券手交

◇おめでとうございます



結婚記念日：
守屋紀忠さん
(10/3)

花が届いてから思い出したのが現実です。息子の歳と同じ47回目の記念日です。有り難うございました。これからも宜しくお願いします。

◇大藤SAA:

食事メニュー：うどん定食

贈物：元会員の武笠公治さんから著書：「臀筋のコリ」
百瀬さんから「ハロウインのお菓子詰め合わせ袋」

事務局手塚さんからオーストラリア土産
「チョコレートとクッキー」

◇会長報告 新宅文雄会長

本日は米山月間に因んで、元米山奨学生 李・イエンさんを招聘いたしました。後程 素晴らしい卓話をお願いしております。李・イエンさんよろしくお願ひ致します。

1、青少年交換学生ホストファミリーの天野さんには、大変お世話になりました。有難うございました。金目さんには、10月1日からお世話になっております。ティートゥス君が体調変調をきたし、学校を2日ばかり休みましたと聞いております。お医者さまに罹る程のものではないようです。

2、読売新聞読者サービスで、毎月1日無料掲載チラシ配布を行っております。このチラシにホストファミリー募集の広告を出しましたところ、村瀬 有様

が手を上げて下さいました。百瀬さんと一緒に訪問しました。村瀬さんは、愛知県生まれ、東海高校、シュトゥットガルト大学を経て、山形大学、信州大学客員教授、第16期、18期、日本学術会議委員、現在界面科学技術機構代表、日本工学アカデミー会員、工学博士（東京大学）ご自分の著書（ゲーテの本と碁の本）を戴いてきました。奥様はサバサバして明るく、初めて訪問したにも拘わらず、ティートゥス君の宿泊する事になる時の部屋（2階の部屋）を見せて頂きました。ドイツが大好きな方ようです。3、次年度の当地区のガバナー補佐は全て決まりました。第8グループは百瀬恵美子さんです。地区から委嘱状が送付されました。なお百瀬さんには、2018～2019年度オンツー・ハンブルグ国際大会委員会委員ご就任委嘱が参っております。4、9月21日会長幹事会で「第1回3グループ（第7、第8、第9）合同新会員の集い」が開催されます。出席者確認と会費一人4000円の振込み依頼がありました。大磯クラブからは桜川さんと新宅が出席します。

5、理事会開催通知

◇幹事報告

田中敏治幹事

回覧：

1. 職業奉仕月間卓話者派遣について
2. 外向きの職業奉仕・実践例提供のお願い。
3. ロータリアンによるミャンマー訪問提案
4. 10月のロータリーレート：112円
5. 週報：志木RCより
6. ザ・ロータリアン誌

配布物：

1. 会報2418回、2419回、2420回例会会報
2. ロータリーの友配布

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

太田 知加子さん

・新宅文雄さん：
李イエンさんようこそ、卓話よろしく！
イスラームさんようこそ。守屋さん結婚祝おめでとうございます。

・田中敏治さん：
守屋さんおめでとうございます。いつまでも仲良くして下さい。李イエンさんようこそ卓話よろしくお願ひ致します。イスラームさんようこそ。



・河本親秀さん：守屋さん結婚記念日おめでとうございます。李焱さんようこそ卓話楽しみにしています。イスラーム君ようこそ。

・井上浩吉さん：李イエンさんようこそ卓話よろしくお願ひ致します。守屋さん結婚記念日おめでとうございます。

・守屋紀忠さん：結婚記念日の花ありがとうございます。イスラーム君ようこそ。李イエンさんようこそ卓話よろしくお願ひ致します。

・百瀬恵美子さん：守屋さん結婚記念日おめでとうございます。李さんよろしくお願ひ致しますね。

・桜川誠さん：イスラームさん李イエンさんようこそいらっしやいました。李イエン卓話よろしくお願ひ致します。守屋さん結婚祝おめでとうございます。

・太田知加子さん：李さん、ようこそ。イスラームさん、ようこそ。守屋さんおめでとうございます。

☆百瀬恵美子さん：



1. ティートゥス君が8月19日に来日約1ヶ月半、本人も落ち着いて来たと同時にホームシックなのかなと思われま。10月3日、4日と頭が痛いと学校を休んだそうです。たまたま10月1日から天野さん宅から金目さん宅に移った事もあるのかも？金目さんが自分宅で病気にさせてしまったかと驚かれたようです。私もお宅に行って寝ているティートゥス君を見ましたが食欲がないとか熱があるとかではないので様子を見たいと思います。大磯クラブとしてティータゥス君を招いてボーリングをすとか食事をすとか気が紛れることを計画しないといけないかなと危惧しています。地区の委員会に報告したらティートゥス君だけでなく、どの子もこの時期になると起きることだそうです。最初の1ヶ月くらいは周りの人が興味があるので声を掛けてくれたりするが、1ヶ月を過ぎる頃からは本人が意思表示しない限り、回りは放っておく傾向にあるので、本人は独りぼっちでぼつんとしていることが多い。このことが本人は辛いのかなと思います。7日に地区の集まりがあるので、その時に交換学生達に話して下さいます。今日はお腹が痛いと言って渋っていたが学校へ行ったそうです。暫く様子を見たいと思います。皆さんも声を掛けて上げて下さるようお願ひ致します。

2. 宿場まつり：11月5日(日)10時~15時に決定しました。今日は2回目のスタッフ会議が19時からあります。これから前日、当日の準備の詳細を詰めることにしています。

ロータリーとしては落語家を呼ぶのかどうか話し合っていて行きたいと思います。前日の準備や当日のことについては次回決めたいと思いますので、宜しくお願いします。

米山月間卓話

明るい未来がきっと来る！

李 焱 (リ・イエン) さん



本日、みなさまにお話をする機会を与えられましたこと、大変嬉しく思います。

私は、いまご紹介を戴きました中国の李焱です。2004年に東海大学修士課程を卒業して、現在は中国語のナレーターをしています。今日は、私の経験談をお話して、少しでも皆様のお役に立てればと思います。5年前、初めてロータリーの奨学金の事を知りました。たくさんの奨学金の中で、なぜか米山ロータリーを選んだのかといいますと、正直申しますと金額が多かったからです。実は私が日本に来た時の手持ちのお金はわずか3000円しかありませんでした。私の家は決して豊かな家庭ではありませんでした。父親は当時新聞社で編集長をしていましたが、あの残酷な中国文化大革命のために、体をボロボロにされてしまいました。私が日本にきたとき、父親の年収は日本円でたった30万程度でした。当然の事ですが、父のその年収では、私の年130万円の多額の学費を払うことはできません。私はその時月に1万円の家賃で国際会館に住んでいましたが、最初の一年は、一日三食の食事を取るお金も無く、一日一食の生活を送っていました。ロータリーの奨学金に合格した知らせを公衆電話で実家の両親へ伝えた時には、父親が正月を迎えるように興奮して爆竹を鳴らし、母親が感動の涙を流していた事を今も思い出します。ロータリーの奨学生となって、一番大きく

変わった事は、食生活が一食から二食になった事でした。アルバイトを控える事が出来、その分勉強と研究に力を入れることができました。また、経済的な負担がすくなくなったため、学内のイベントや世話クラブ(茅ヶ崎RC)の定例会にも参加する事が出来、ロータリーの奨学生として非常に充実した二年間を過ごす事が出来ました。私が一番感謝したい方は、私を支えてくださった茅ヶ崎世話クラブの皆さんです。15年前はいまと違って、インターネット環境も普及していませんでした。日本の生活に慣れないとき、就職活動で悩んでいた時、卒業して社会人となって仕事がうまくいかないときも、相談相手になってくれたのは両親ではなく、世話クラブの皆さんでした。目が不自由な世話クラブの方が、私に新聞に載っている求人情報を渡すため、わざわざ1時間電車に乗って会いに来てくれました。両親にそのことを伝えた時、父が「本来親がやるべきことを、ロータリーの方が代わりにやってくださっている。みなさんの娘への援助、一生忘れません」と口にした事を今でも覚えております。その後、最愛の父は職場で倒れ、そのままこの世を去ってしまいました。父の突然の死で、長年自閉症を抱えていた母の介護をしなくてはなくなりました。急いで観光ビザで母親に日本に来てもらいましたが、ご承知の様に観光ビザではわずか三か月しか日本に滞在出来ません。日本で長期滞在するためには、三か月以内に、長期滞在ビザへの切り替えをしなければなりません。しかし、入国管理局からは、「お母さんがまだ57才なので、介護の必要があるとは思えない。抱えている持病があり、日本で治療をしながら子供と一緒に生活をする必要があるという特別な理由がない限りは難しいです」ということでした。それなら、病院からの診断証明書があれば、長期ビザの申請ができる！母が私と一緒に日本で暮らせる！と考えましたが、現実にはそんなに甘くはありませんでした。母と一緒に10軒ぐらいの病院を回りました。結局母が日本語を話せないために、自閉症かどうか判断できないということで、残酷な現実でした。母の観光ビザが後2週間！その間に母の診断書がないと、私も日本のすべてを捨てて、母と中国へ帰るしかありませんでした。でも、日本での生活を捨てたくなかった！眠れない毎日でした。そのとき、声をかけてくれたのが世話クラブの方でした。「李さん、落ち込まないで！明るい未来がきっと来る」と励ましてくださいました。そしてその方がある精神科の先生を紹介してくださいました。その先生は母を問診するとすぐに診断書を書いてくれました。私の人生を変える診断書でした。これまで他の病院では、私の一方通行の通訳で偽造診断書を書かせようと思われたいのかもしれませんが、と先生に話をしたら、「あなたがうそをついて

母に偽造診断書を作らせようとしているとは思えません。それにあなたのお母さんは日本語を一言も喋っていませんが、お茶の持ち方と目線ですぐ自閉症だと分かったよ、明日にでも早く入管へ出してくださいね。」と優しく言ってくれました。母は一年ビザを無事取得する事が出来ました。それから現在まで日本で治療続け、ビザを毎年更新してもう10年経ちます。(お母さんのメッセージ45秒映像入り=感謝の言葉)



冒頭、自分の職業を少しだけご紹介しました。私は卒業後、普通のOLとしての人生を歩み始めました。でも、2011年の3月、あの関東大地震が起きた時、「私、まだ自分の夢を実現できてないじゃない？このまま死んだら後悔する！」私はそう思いました。私は震災後退職願いを会社に出してフリーランスのナレーターへの第一歩を踏み出しました。

何事も始めが一番難しいものです。日本は、新しい人を使う事に非常に抵抗がある文化を持つと感じます。仕事を始めた最初の頃は、相手との信頼関係を作るために、「とにかく私を使ってください。納得いくまで一円も頂かなくて結構です」と十数社のプロダクション事務所へ飛び込んで行きました。それでも、玄関にも入れて貰えない、登録だけはさせて貰っても仕事の依頼は一度も来ないと言うようなことが日常茶飯事でした。そんな厳しい環境の中でも、どうして飛び込み営業を毎日続けていくことができたのか、それはある先輩からの一言が私の心に火をつけたからでした。「お前は女なんだから、ちゃんといい男を見つけて、結婚すればいいじゃないか？なんで安定した会社を辞めて、独立したいんだ？」という言葉でした。そうです、女の私でも自分がやりたいことはあるんです！いまはつらいけれど、絶対に成功して見せたい！と思いました。退職してから半年、登録した事務所から初めて仕事のオファーがきました、わずか1万の収入でしたが満足でした。この1万のスタートがなければ、将来10万、100万の仕事もこないですから。その仕事をきっかけに徐々にオファーが来るようになり、2年くらいで会社勤めの頃とほぼ同じぐらいの年収を得ることができる様になりました。今独立してから6年

が経ち、中国語教材をはじめ、企業のプロモーションビデオやCMのナレーション収録など、1000本以上の仕事を経験してきました。

**コツコツと頑張っていけばできる、
明るい未来がきっと来る！**

仕事では色々な方々と出会います。去年の春、龍が如く6に登場した藤原竜也さんと一緒にお仕事をさせて頂きました。情報保護の関係で、藤原さんが現場に現れるまでに、誰の現場監修担当なのかは全く知られていませんでした。藤原さんはとてもまじめな方で、何度も何度も中国語のセリフにチャレンジして、休憩中も練習していました。中華料理と私の故郷の話もしていました。近所のやさしいお兄ちゃんのようなイメージでした。こうした沢山の小さな出合いを实らせて、自分の仕事の経験につなげていくことを大切にしています。

海外からの観光客も増え、東京オリンピックも2020年に決定した今、観光地や駅等人が多く集まる場所のお知らせや注意書きには、中国語を初め、外国語の表示が必須になってきています。7月には訪日中国人観光客数が78万人に到達し、過去最高だそうです。お客さんに音声ガイドを通じて日本の歴史、文化を味わって頂くためには、そのナレーション原稿の内容が大事になります。みなさんは外国語放送の内容を疑ったことがないですよ？でも実は、かなり曖昧な、誤った翻訳になっている事もすくなくないです。その理由は、機械翻訳を使っているからです。実は私も何度も機械翻訳の原稿を読まされました。想像はできるでしょうか？10分の音声でも、制作するには何十万かかることが多いのです。何十万もかけて、聞いていた人が正しい意味を取り違えたり、意味を十分理解出来ないとしたら、制作する意味がありません。当たり前のことを当たり前の様にやってくれる翻訳会社は実は意外と少ないのです。

「見積りが遅い」「納期が長すぎる」「時間になっても納品されない」などなど、皆様も多かれ少なかれ、こういった経験はあるかと思います。収録現場でお客様一人ひとりのニーズに丁寧に應對してきた経験を活かして、一社でも多くのお客様に、質のいい翻訳を提供していきたいと思っています。そんな願いで翻訳会社を作りました。これからも、米山ロータリーの学友という自覚をしっかりと持ち、社会、そして米山ロータリー記念奨学会へ感謝の気持ちを忘れずに、誠実に「最高」の仕事の続けて行こうと思います。15年間私がロータリーから教わってきた事を、また私のささやかな経験談を皆さんにお話しする事で、皆さんの何かのお役に立てれば良いなと思った事が、私が今回壇上に上がった理由でした。私の話の中に、少しでも皆さんが得るものを

見つけられたら幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

質疑応答:李さんの会社名:ACSY合同会社 ご主人は先輩米山奨学生でマレーシア出身、スポンサークラブは藤沢RC。お名前は金日和(コンニチワ=愛称=と呼ばれているとのこと)

新宅会長よりお礼の言葉:

今日はお忙しい中、卓話をお願いしましたが、気持ちよくお出で頂き有り難うございました。とても素晴らしい卓話でした。日本語もお上手で説得力があります。(謝礼と50周年記念ボールペンをお渡ししました。)



(公・財)米山記念奨学会よりの
米山奨学生証をイスラム君に手交
米山記念奨学会事務局長の添え書き:



米山奨学生の自覚を持って頂く事

2. 奨学生番号や世話クラブなどを忘れないで頂く事

3. 奨学期間終了後も有効とし、学友となっても奨学生時の情報を覚えて置いて頂く事を目的に発行致しております。奨学生にお渡し頂き、奨学期間終了後も捨てずに持って頂くようにご指導下さい。

米山奨学生証カード記載事項:名前、国籍、世話クラブ名と学校名

理事会報告 2017年10月5日(木)

1, 宿場まつりの件:2017年11月5日開催
大磯RCは例会変更して参加する落語桂歌助師匠にお願いした。

全予算は10万円内訳

協賛金;30000円

近隣;さつまあげ3000円×5=15000円

落語家;30000円

茶菓子;10000円

昼食;5000円

2、ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付の件:
財団委員長の井上委員長が目標は達成したいし、達成するぞとの強い決意を語られた。井上委員長の指示に従って達成したい。

3、年次総会の件

(1)11月理事会に再度諮る。(その間にプログラム原案を作成する)

(2)日時12月21日 決定

(3)場所:一泊とするかどうか?

(4)会費:10000円?

(5)半期報告

(6)守屋会長の次の会長・幹事選考の件:

会長・幹事選考(斉藤さん、田中さん、太田さん)

4、その他

以上